

科名 外科 外科72(b)

対象疾患名 HER2過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発胃がん

プロトコール名 CDDP+ゼローダ(XP)+トラスツズマブ(2回目以降)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	...	8	...	15	22
1	点滴注	メイン	生食	1000mL	22:00～10:00	↓							
			5%ブドウ糖	1000mL	アリメバッグで								
			KCLキット	10mL									
2	点滴注	メイン	生食	1000mL	10:00～22:00	↓							
			5%ブドウ糖	1000mL	アリメバッグで								
			KCLキット	10mL									
3	点滴注	側管1	トラスツズマブ	6mg/kg	初回90分。以降忍容性があれば30分。	↓							
			注射用水	7.2mL	ただし、初回にインフュージョンリアクションあ								
			生食	250mL	れば2回目60分。以降忍容性があれば30分。								
					10:00～10:30								
4	点滴注	側管2	グラニセトロンバッグ	1mg	30分かけて	↓							
			デキサート	9.9mg	10:30～11:00								
			又は										
			パロノセトロンバッグ	0.75mg									
			デキサート	9.9mg									
5	点滴注	側管3-①	シスプラチン	80mg/m ²	2時間かけて	↓							
			生食	500mL	11:00～13:00								
6	点滴注	側管3-②	マンニトールS	300mL	6時間かけて	↓							
					11:00～17:00								
7	点滴注	メイン	生食	1000mL	22:00～10:00	↓							
			5%ブドウ糖	1000mL	アリメバッグで								
			KCLキット	10mL									
8	点滴注	メイン	生食	1000mL	10:00～22:00		↓	↓	↓				
			5%ブドウ糖	1000mL	アリメバッグで								
			KCLキット	10mL									
9	点滴注	側管	デキサート	6.6mg	10:00～10:30		↓	↓	↓				
			生食	50mL	30分かけて								
	内服	ゼローダ1回1000mg/m ² を1日2回 d2朝食後～d15夕食後投与、d16朝食後～d22は休業											

★1クール＝22日(day1はハイドレーション)

～MEMO～

催吐レベル4(90%以上)

イメンドカプセルを内服する。day2は10:00に125mgを1カプセル、day3,4は午前中に80mgを1カプセル

＜トラスツズマブ＞

初回8mg/kg、2回目以降6mg/kg。初回90分で忍容性があれば2回目以降30分。ただし、初回にインフュージョンリアクションがあれば2回目60分。以降忍容性があれば30分。

禁忌: アンスラサイクリン系との併用(心毒性の増強)

初回投与の40%にインフュージョンリアクションが認められる。投与開始後2時間は慎重に観察

三か月毎に心エコーで心機能を評価

最終投与から6週以上経過した場合は初回投与量(8mg/kg)より再開する。

＜ゼローダ＞

ゼローダは14日間内服7日間休業

ゼローダ1日2回内服、1回の投与量

体表面積(BSA) < 1.36m²は1200mg/回 (4 Tab)1.36m² ≤ BSA < 1.66m²は1500mg/回 (5 Tab)1.66m² ≤ BSA < 1.96m²は1800mg/回 (6 Tab)BSA ≥ 1.96m²は2100mg/回 (7 Tab)